



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 ニレコ 上場取引所 東
 コード番号 6863 URL <http://www.nireco.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 寿治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 裕 光司 TEL 042-642-3111
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,121	3.7	486	26.0	506	19.6	311	27.4
2019年3月期第2四半期	3,975	11.5	386	88.4	423	64.4	244	40.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 289百万円(115.5%) 2019年3月期第2四半期 134百万円(△55.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	42.51	42.00
2019年3月期第2四半期	32.93	32.63

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	13,999	12,624	89.7
2019年3月期	14,012	12,490	88.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 12,557百万円 2019年3月期 12,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
2020年3月期	—	14.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	20.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	6.6	950	5.7	1,050	3.8	730	49.0	98.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	8,305,249株	2019年3月期	8,305,249株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	999,295株	2019年3月期	926,773株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	7,316,525株	2019年3月期2Q	7,416,013株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は当社ホームページに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題などを背景に減速傾向が一段と強まりました。わが国経済は世界経済の減速を背景に先行き不透明な状況が続きました。

当社グループ（当社及び連結子会社）の主要取引先であります鉄鋼、電子部品、化学、印刷・紙加工、食品など各メーカーの設備投資に向けた動きは一部を除き総じて減速傾向で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、いかなる環境下においても成長できる体制の実現を目指し、海外販売拡大に向けた体制構築、食品関連市場の開拓を進めるとともに、当社グループが設立以来培ってきたセンシング及び画像処理技術の強化に注力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高4,121百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益486百万円（前年同期比26.0%増）、経常利益506百万円（前年同期比19.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益311百万円（前年同期比27.4%増）となりました。また、受注残高は3,350百万円（前年末比12.4%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① プロセス事業

世界的に鉄鋼メーカーの設備需要は減退したものの、品質向上及び生産性改善のための設備更新需要を確実に受注しました。また、前期末までの高レベルの受注残高を背景に、主に耳端位置制御装置や自動識別印字装置などの売上が拡大しました。

その結果、当事業の売上高は1,745百万円（前年同期比32.1%増）、セグメント利益は436百万円（前年同期比30.4%増）となりました。また、受注残高は1,923百万円（前年末比10.2%減）となりました。

② ウェブ事業

主に海外からの二次電池、電子部品関連の設備投資需要沈静化の影響により、主力製品である耳端位置制御装置の売上が減少しました。

その結果、当事業の売上高は1,484百万円（前年同期比13.8%減）、セグメント利益は296百万円（前年同期比30.7%減）となりました。また、受注残高は557百万円（前年末比25.5%減）となりました。

③ 検査機事業

多様な無地素材の検査需要を捉えた無地検査装置が堅調に推移したものの、選果設備の需要一巡により食品外観検査装置の売上が減少しました。

その結果、当事業の売上高は796百万円（前年同期比8.6%減）、セグメント損失は28百万円（前年同期はセグメント損失5百万円）となりました。また、受注残高は793百万円（前年末比12.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて13百万円減少して13,999百万円となりました。これは主に商品及び製品の増加103百万円、その他無形固定資産の増加52百万円、原材料及び貯蔵品の増加45百万円による資産の増加があり、一方で受取手形及び売掛金の減少85百万円、建物及び構築物の減少36百万円、仕掛品の減少30百万円、その他流動資産の減少29百万円による資産の減少があったことによります。

また、負債は前連結会計年度末に比べて147百万円減少して1,374百万円になりました。これは主に未払法人税等の増加29百万円、未払消費税等の増加9百万円による負債の増加があり、一方でその他流動負債の減少106百万円、未払費用の減少27百万円による負債の減少があったことによります。

純資産は前連結会計年度末に比べて134百万円増加して12,624百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加207百万円、新株予約権の増加14百万円による純資産の増加があり、一方で自己株式の増加64百万円、為替換算調整勘定の減少20百万円による純資産の減少があったことによります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)につきましては、営業活動により387百万円増加し、投資活動により88百万円、財務活動により273百万円減少しました。その結果、当第2四半期連結累計期間末の資金残高は前連結会計年度末と比べて18百万円増加し、3,007百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間末における各キャッシュ・フローの概況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は387百万円(前年同期比480百万円の増加)となりました。これは主なフローインとして、税金等調整前四半期純利益463百万円、減価償却費64百万円、投資有価証券評価損42百万円、売上債権の減少80百万円があり、主なフローアウトとして、たな卸資産の増加132百万円、法人税等の支払額131百万円などがあったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は88百万円(前年同期比158百万円の減少)となりました。これは主に定期預金の払戻による収入1,985百万円、投資有価証券の売却による収入32百万円、貸付金の回収による収入9百万円などがあったものの、定期預金の預入による支出1,953百万円、固定資産の取得による支出86百万円、投資有価証券の取得による支出52百万円などがあったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は273百万円(前年同期比120百万円の増加)となりました。これは主に配当金の支払額102百万円、長期借入金の返済による支出24百万円、自己株式の取得による支出64百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出72百万円などがあったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、概ね当初予想した範囲で推移しており、前回発表(2019年5月17日決算短信)の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,990,128	4,970,890
受取手形及び売掛金	3,280,788	3,195,525
商品及び製品	897,536	1,000,701
仕掛品	550,273	519,344
原材料及び貯蔵品	448,386	493,575
その他	350,699	320,752
貸倒引当金	△11,734	△10,881
流動資産合計	10,506,077	10,489,908
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,154,227	1,117,749
機械装置及び運搬具（純額）	37,493	43,724
工具、器具及び備品（純額）	62,135	60,579
土地	665,496	662,996
有形固定資産合計	1,919,354	1,885,049
無形固定資産		
リース資産	3,480	884
その他	129,655	181,805
無形固定資産合計	133,135	182,690
投資その他の資産		
投資有価証券	1,161,082	1,141,834
長期貸付金	95,665	87,825
繰延税金資産	81,332	80,429
破産更生債権等	18,704	18,704
その他	156,871	171,152
貸倒引当金	△59,331	△58,066
投資その他の資産合計	1,454,324	1,441,878
固定資産合計	3,506,814	3,509,618
資産合計	14,012,891	13,999,526

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	392,487	378,225
1年内返済予定の長期借入金	41,700	16,704
リース債務	3,533	901
未払費用	475,210	447,730
未払法人税等	143,812	173,330
未払消費税等	47,393	57,333
役員賞与引当金	30,300	15,800
工事損失引当金	30,729	39,662
その他	295,653	188,887
流動負債合計	1,460,820	1,318,574
固定負債		
役員退職慰労引当金	3,619	4,333
退職給付に係る負債	57,540	51,624
固定負債合計	61,159	55,957
負債合計	1,521,980	1,374,532
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,122,504	4,119,779
利益剰余金	5,670,545	5,878,280
自己株式	△636,911	△701,251
株主資本合計	12,228,491	12,369,161
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	191,006	192,173
為替換算調整勘定	52,404	31,902
退職給付に係る調整累計額	△40,288	△35,600
その他の包括利益累計額合計	203,122	188,476
新株予約権	46,627	61,480
非支配株主持分	12,670	5,876
純資産合計	12,490,911	12,624,994
負債純資産合計	14,012,891	13,999,526

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	3,975,424	4,121,626
売上原価	2,406,476	2,483,890
売上総利益	1,568,947	1,637,735
販売費及び一般管理費	1,182,845	1,151,069
営業利益	386,101	486,666
営業外収益		
受取利息	5,644	4,347
受取配当金	18,692	19,055
補助金収入	13,948	—
その他	8,617	7,250
営業外収益合計	46,901	30,652
営業外費用		
支払利息	668	322
支払手数料	1,900	—
為替差損	2,192	6,696
その他	4,498	3,389
営業外費用合計	9,259	10,409
経常利益	423,744	506,909
特別損失		
投資有価証券評価損	—	42,946
特別損失合計	—	42,946
税金等調整前四半期純利益	423,744	463,962
法人税等	177,805	157,202
四半期純利益	245,939	306,760
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,720	△4,272
親会社株主に帰属する四半期純利益	244,218	311,033

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	245,939	306,760
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92,340	1,167
為替換算調整勘定	△32,564	△22,836
退職給付に係る調整額	13,449	4,688
その他の包括利益合計	△111,454	△16,981
四半期包括利益	134,484	289,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,776	296,387
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,291	△6,608

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	423,744	463,962
減価償却費	89,746	64,221
のれん償却額	37,658	—
長期前払費用償却額	200	1,694
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8,520	△14,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△701	△2,056
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△4,349	8,932
退職給付に係る資産負債の増減額	△9,739	△5,915
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	665	714
受取利息及び受取配当金	△24,336	△23,402
支払利息	668	322
為替差損益 (△は益)	1,999	4,795
投資有価証券売却損益 (△は益)	△208	1,487
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	42,946
有形及び無形固定資産除却損	1,600	111
売上債権の増減額 (△は増加)	177,701	80,597
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△408,028	△132,429
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△237,328	30,953
仕入債務の増減額 (△は減少)	36,919	△11,056
未払費用の増減額 (△は減少)	2,698	△26,629
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△11,155	8,925
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	15,714	△13,807
その他	17,220	14,852
小計	102,171	494,720
利息及び配当金の受取額	25,086	24,338
利息の支払額	△710	△327
法人税等の支払額	△219,965	△131,717
法人税等の還付額	—	125
営業活動によるキャッシュ・フロー	△93,418	387,140
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△613,215	△1,953,062
定期預金の払戻による収入	462,253	1,985,454
固定資産の取得による支出	△141,669	△86,795
投資有価証券の取得による支出	△2,214	△52,287
投資有価証券の売却による収入	21,386	32,669
貸付金の回収による収入	9,529	9,298
その他の支出	△2,622	△26,792
その他の収入	19,326	3,059
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247,227	△88,456

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△34,998	△24,996
自己株式の取得による支出	△1	△64,340
配当金の支払額	△103,747	△102,896
非支配株主への配当金の支払額	△7,830	△6,213
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△72,141
その他	△5,902	△2,632
財務活動によるキャッシュ・フロー	△152,479	△273,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,345	△7,368
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△503,470	18,094
現金及び現金同等物の期首残高	4,680,577	2,989,254
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,177,106	3,007,348

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,320,681	1,721,699	871,266	3,913,646	61,778	3,975,424	—	3,975,424
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,320,681	1,721,699	871,266	3,913,646	61,778	3,975,424	—	3,975,424
セグメント利益 又は損失(△)	334,614	428,299	△5,787	757,126	△55,518	701,608	△315,507	386,101

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△315,507千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	1,745,109	1,484,834	796,523	4,026,466	95,160	4,121,626	—	4,121,626
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,745,109	1,484,834	796,523	4,026,466	95,160	4,121,626	—	4,121,626
セグメント利益 又は損失(△)	436,346	296,990	△28,606	704,730	13,934	718,664	△231,998	486,666

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△231,998千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。